

平成26年度 橘処理センター整備事業に係る地域住民と行政による検討協議会 第18回 議事録（要約）

日 時 平成26年5月20日（火） 18時30分 ～ 19時40分

場 所 橘処理センター3階会議室

1 会長あいさつ

2 方法書説明会の報告

【概要】

事務局から、方法書説明会の参加人数や意見数、質問の概略などについて説明を行いました。その中で、説明会での質問の取扱いなどについて確認されました。

【発言要約】

事務局： 【資料説明】

会長： 第1回目と2回目の説明会に出席しましたが、私が出席しなかった橘出張所での説明会では、前は6名しかいなかった出席者が11名に増えています。説明会の参加人数の総数としては9名減っていますが、説明会が行われるということの周知がよく行われていると感じました。質問についても、ごみ行政に対する前向きな質問や意見が多いと感じました。これは行政側の説明会に対する努力が、こういった関心の高さになったと感じました。それから事務局に質問ですが、説明会で質問が70件程度あった中で、単なる質問と提案的な意見と要望的な意見があったと思います。質問についてはその場で回答されていたと思いますが、要望や提案については、今後どのように活かしていきますか。それと、検討協議会の委員の選出について、若い人や女性が少ないといった意見がありました。それについてどのように取り上げていくか、いかがですか。

事務局： 説明会の質疑応答についてですが、アセス制度上では今回の説明会の位置付けというのは、広く方法書の内容を周知するというものになりますので、説明会の中で意見や提案が出た場合でも、それは意見書を提出してくださいという扱いになります。事務局として質疑応答した中には、今まで検討協議会で積み上げてきたものについて、回答をしました。その他の意見や提案については、意見書として提出していただくのが一番いいのですが、貴重な意見がありましたので、これらの意見があったということを考慮して計画や手続を進めていきたいと思っています。また、検討協議会のメンバーについては、検討協議会を発足させた時に、運営協議会を母体として市民によってメンバーを選出していただきました。市

民委員のメンバーについて、人数も含めて市民側から提案をいただいて、検討協議会を発足させたという経緯があります。そのメンバーにつきましては、年齢や性別について見直しが必要であれば、市民委員から委員の交代などの提案が考えられます。

会 長： 整備計画に関する事項については、意見書として出してもらおうということでわかりましたが、検討協議会のメンバーに関する事項については、この検討協議会で決めてほしいということです。もし、検討協議会で取り上げるのであれば、議事の方に入れなければいけないと思いますが、いかがでしょうか。

委 員： 平成24年度からこの検討協議会が始まりましたが、市民から委員の選出などの提案があって検討協議会が発足していますので、市民委員から提案していただき、運営していけばいいと思います。この検討協議会で扱うというよりは、市民委員側で考えていただき、会長の方で取りまとめを行っていただきたいと思います。

委 員： 検討協議会は長く続くわけなので、今日のように市民委員の出席が非常に少ない状態では話にならないので、まずは出席してくれる委員を選出した方がいいと思います。

会 長： 現在の委員は固定されていますよね。

委 員： 委員の交代を行えばいいです。検討協議会は橋処理センター整備事業完了まで継続するのですから、同じメンバーでやっていくのは不可能だと思います。

会 長： それぞれ、町内会の代表などで選出しています。

委 員： 今日欠席が多いので、町内会長にもっと出席してくれる人を選出してもらおうように、会長から言ってもらった方がいいと思います。

会 長： 会長から市民委員に発破をかけ、多く出席させて協議を進めるべきということですが、発破をかけますか。

委 員： 行政委員には多く出席してもらっているのに、市民委員が少人数では意味がないです。

委 員： 事前に御連絡をいただいて、仕事で欠席という方もいらっしゃいますが、市民委員については会長にお任せしたいと思います。

会 長： 傍聴者から意見があるということで、よろしくお願ひします。

傍 聴 者： 説明会でも女性委員の参加に関する意見がありまして、私もそう思っていましたので、それをお願いしたくて本日は傍聴に出席しました。総理大臣からして女性の活躍をとということですので、この環境局の行政委員にもそのうち女性が座るのではないかと期待しているところです。なるべく多く出席してくださる方で、なおかつ女性で年齢ももう少し若い方といった要望はたくさんあると思いますが、ごみを出すということについては女性が関わる面が多いので、女性の委員が一人もいないというこ

とはどうかかなと思っていました。規約にとらわれないで積極的に検討していただければと思います。

会 長： 聞き置いていただければと思います。市民委員から意見がありましたので、発破をかけるかもしれないので、よろしくお願いします。

3 議事

(1) 第17回検討協議会議事録の確認

【概要】

事務局から、第17回検討協議会の「議事録」並びに「橋処理センター整備事業だより」について、内容の確認があり、それら2点について了承されました。

(2) 議題

ア 方法書縦覧以降の橋処理センター整備事業のスケジュールについて

【概要】

事務局から、方法書縦覧以降の橋処理センター整備事業のスケジュールについて説明を行いました。その中で、方法書審議会や整備計画策定の流れについて確認されました。

【発言要約】

事務局： 【資料説明】

会 長： 何か質問等ございますか。

説明会で使用した資料がお手元にあります。その中にも概略のスケジュールがありますので、そちらも参考にいただければと思います。当面は縦覧している方法書について意見書をまとめて、審議会で審査、答申を経ていくということで、その段階になったら再度、検討協議会で内容を確認していかないといけないと思います。

(意見なし)

イ 環境現況調査の実施状況【春季】について

【概要】

事務局から、環境現況調査の実施状況【春季】について説明を行いました。その中で、より橋処理センター整備事業への理解を深め、関心を高めてもらうため、現地調査見学会を開催していくことについて確認されました。

【発言要約】

事務局： 【資料説明】

委 員： 近隣の方には事前に周知をしたうえで、バルーンを上げて上層気象調査を実施しましたが、一気に上がってしまうのであまり気付かなかったの

かと思います。次は夏季に調査があるのですが、暑い時期に現地調査の見学会を開催しても大変なので、秋季に計画しています。

委員： バルーンは1回しか上げないのですか。

事務局： バルーンは3時間間隔で、7日間連続して昼間も夜間も上げますので、合計56回になります。

委員： 現地調査見学会ではどうですか。

事務局： 現地調査見学会の方法については今後、詳細に検討していきます。検討協議会の委員には調査方法や調査地点などを御説明しましたが、近隣の方にもより多く知ってもらうために開催します。橘処理センター整備事業では環境影響評価の調査を幅広くやっており、来年度に準備書が縦覧になった時に、調査、予測・評価をよりよく知ってもらった状態で準備書を見ていただきたいので、実際に現地で調査を見てもらいたいと考えています。

委員： アピールしたいということですね。

事務局： 橘処理センター周辺で測定の作業をしている時に、測定機器が設置されていますので、近隣住民から何をしているのかという問い合わせもいただきました。より関心を持っていただくために、現地調査見学会を開催して周知をしていこうと考えています。

会長： 現地調査見学会の案内はどのように行う予定ですか。

事務局： まだ計画段階ですが、方法書の説明会の時にも町内会等に協力していただき回覧を行っていただきました。22町内会等で、世帯数で言うと約1万7世帯に周知を行いましたので、見学会についても同じような周知方法を考えています。その時にはまた、町内会長に御説明して回覧をお願いしたいと思います。

ウ 整備計画とりまとめの方向性について

【概要】

事務局から、整備計画とりまとめの方向性について説明を行いました。その中で、整備計画で行う検討内容及び検討事項について確認しました。

【発言要約】

事務局： 【資料説明】

会長： これまで2年以上かけて行ってきた検討協議会での協議を踏まえた方向性で進めるということによろしいですか。

事務局： 今までの流れの中で環境配慮計画書を作成し、その中で、施設配置や煙突高さについて複数案を示して、どのような方向性がいいのか検討しました。その後、単一案に絞り込み昨年度の11月に基本計画を策定しました。基本計画では施設配置や煙突高さといったところまで取りまとめ

ましたが、今後は、建物高さを抑えるための積極的な地下利用や造成地盤といった計画を進めるにあたり、技術的で複雑な計算や検討が必要になってきますので、そういったものを取りまとめたものが整備計画になり、排ガスの自主基準値の設定や図面を作成していきます。整備計画の中で排ガスの濃度や環境教育、防災計画は焦点になっていましたので、これらについては引き続き検討協議会で議題としていきたいと考えています。スケジュールについては、方法書の縦覧が終わりましたら審議会が開かれ答申が出ます。答申が出たら整備計画を速やかに取りまとめしていきますので、概ね秋を目安に整備計画の策定を目指しています。

委員：先走っているかもしれませんが、メーカーに発注する段階がありますよね。それと整備計画との関連はどうなりますか。

事務局：メーカーに発注する段階についてですが、まず、平成27年度まで各種手続や計画を策定していきます。この段階でもメーカーに対して技術的なヒアリングを行います。メーカーを決定することはせず、建設工事を行う段階でメーカーが決定します。発注方式については性能発注方式の採用を考えています。このようなごみ焼却処理施設については各種メーカーの考え方や特許などがありますので、それらを踏まえ、川崎市としてこういった性能を満たす施設を造りたいということをもとめた仕様書を作成し、メーカーを選定します。メーカーが決まってから設計を行うという流れになります。このような流れの中、仕様書を作成していくにあたっての条件整理として整備計画を策定していきます。

(3) その他

ア リサイクルパークあさおごみ焼却処理施設見学会の御案内について

【概要】

事務局から、リサイクルパークあさおごみ焼却処理施設見学会の御案内について説明を行いました。その中で、開催日時等について確認されました。

【発言要約】

事務局： 【資料説明】

会長： 市民委員の希望で開催することになったので、なるべく出席をしていただきたいと思います。

イ その他

【概要】

検討協議会の市民委員のメンバーについて、会長から現在の市民委員に対して出席を促すということで確認されました。

【発言要約】

- 会長： 7月1日の協議会が始まる前の時間に、先程の提案について話し合いの場を設定したいと思いますがいかがですか。
- 委員： 女性の委員についてですか。
- 会長： それも含めてです。
- 委員： それは町内会で委員を変更すればいいと思います。町内会単位で選出しているわけなので、町内会ごとに決定してもらって構いません。
- 会長： 女性の委員をですか。
- 委員： まずは、性別に関係なく出席してくれる人を選出してもらえればと思います。
- 会長： それは任期が来た時には当然交代があると思います。
- 委員： 任期はあるのですか。
- 委員： 任期はありません。
- 委員： 各町内会の役員も変わっていると思います。
- 会長： あまり出席してない委員もいる中で、私から事情を聴いて出席を促すということもはばかっていただけですが、せっかく検討協議会があって、方法書説明会の中でも評価をいただいていたわけなので、会長として検討協議会の在り方を考えていかなければいけないと思います。委員の選出を含めて話し合いをしたいと思います。
- 委員： 誰でもいいというわけではないと思います。
- 会長： 今日話題になったことを、次回の検討協議会が始まる前の時間か後の時間に話し合いをしたいと思います。6時で設定していきたいと思いますがいかがですか。
- 委員： 次回も出席するかどうかわかりません。
- 委員： またこんな少人数でやっても意味がないです。
- 事務局： 次回の検討協議会の委員は今のメンバーでいいということですか。
- 会長： まだ聞いていないのでわかりません。
- 委員： 今のメンバーですよね。変更の届などはないですよね。
- 事務局： ないです。
- 会長： 次回の通知はそれで結構です。
私の方から、現在の委員に対して事情を説明して出席を促したいところですが、やってみますか。
- 委員： 会長名でやらないと仕方ないと思います。
- 会長： それでは出席をしてもらえるように、各市民委員に説明をしていきたい

と思います。

会 長： 他になれば、これで終わりにしたいと思います。